

まだ知らない飛驒の田んぼとお米のこと

飛驒市が誇る、日本一のお米

飛驒市の広葉樹の森と豊かな水で育まれているお米。毎日の食卓で当たり前のようになっている飛驒市産のお米が、日本一と評価されるほどの高い品質を誇り、数々のグランプリを受賞しています

第27回 米・食味分析鑑定コンクール国際大会inつくばみらい

- ・国際総合部門 金賞 (株)みつわ農園(ゆうだい21)13年連続入賞
- ・国際総合部門 特別優秀賞 稲越農業改良組合 宮本 善秋(コシヒカリ)
- ・国際総合部門 特別優秀賞 稲越農業改良組合 政木 茂(ゆうだい21)
- ・小学校部門 金賞 古川小学校 お米クラブ(ゆうだい21)

田中一男さん 皇室にお米を献上

11月23日に執り行われた宮中祭祀「新嘗祭」において、古川町の農家である田中一男さんが、皇室新嘗祭献穀米としてコシヒカリ一升を献上されました。

田中さんは、地元の小学生を対象に30年以上にわたり「お米づくり教室」を開催、「米・食味分析鑑定コンクール」の入賞実績もあり、長年の功績が高く評価され、献穀者として推薦されました。



環境にやさしい米づくりへの挑戦

脱プラ肥料で環境にやさしい米づくり



市はJAひだ・サンアグロ(株)と連携協定を締結し、プラスチックを使わない「硫黄被覆肥料(写真右)」での水稻栽培試験を行いました。検証結果は、収量や品質も良好で、収穫期間の短縮にも効果を発揮することが確認されました。



アイガモロボットが活躍



田んぼを泳ぎ回る小さなロボット「アイガモロボット」。水をかき混ぜて雑草の発生を抑えることで、除草剤の使用を減らすことができます。市では「みどり食料システム戦略推進交付金」を活用し、環境にやさしく効率的な水稻栽培の実証に取り組んでいます。